

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ほたるの里づくり事業
事業主体 (連絡先)	梓川のせせらぎを守る会 松本市梓川公民館 担当：宮田
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業 (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	409,060円 (うち支援金： 305,000円)

事業内容

1) 梓川地区ではほとんど天然のホタルが生息しないので、他県から幼虫のホタルを取り寄せ、梓川中学校の総合授業の一環として、ホタルの育成を中学生とともに実施。2) 育てたホタルを会員と中学生と一緒に小川に放流する。3) 恒久的に餌を確保するため、カワニナの生息できる河床を独自に確保し養殖場を整備。4) この繰り返しで地区内のホタルを自然発生させていく。



【整備した養殖場を視察する中学生】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

事業効果

1) 2～3年前まで300匹程だったの発生数は昨年度2,000匹と急増し、25年度は5,500匹を超えるまでになり、本事業の成果が確実に表れている。
2) 梓川中学校の総合授業と地区住民の活動が良く結びついている。3) 多くのホタルが発生した放流地点では、近隣住民などが訪れるようになった。これを機に交流の広がりを期待する。

【目標・ねらい】

- 昨年より多くのホタルを発生させる
- 梓川中学校生徒と協力した活動にする
- 次年度に継続させる

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

1) 引き続き中学校と連携し、ホタルの飼育、放流、餌となるカワニナの採取を継続していく。
2) 今年度新たに整備したカワニナ養殖場を最大限に活用し、購入だけに頼らない安定したカワニナの供給に努める。また、それにより経費節減を図り、持続可能な会の運営体制を確立する。
3) 会だけの活動だけではなく、地域住民や団体を巻き込んだ幅の広い活動にしてき、地区全体でホタルの育成をしていく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70～89%、「C」50～69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある